1

無料の授業案 · 目標1 · 貧困をなくそう

貧困に本当に効く対策は何か？

対象年齢 14–17歳 · 60分



イラスト：Noemí Villamuza（木のおかあさんより） · © Noemí Villamuza

物語 · *木のおかあさん*

秘密のかくれがで目を閉じたアブリルは、ワンガリ・マータイの物語を思い描きます。ひとりの女性がバスを降りたのは、木がすっかりなくなったケニアの村のはずれでした。土は乾いてむき出しになり、池はからっぽの穴になり、女性たちは薪と水を求めて毎日もっと遠くまで歩き、子どもたちはやせ細っています。ワンガリは黙って見ていません。いちばん古い木々の森へ行き、大地に許しをもらって七本の苗を掘り出し、自分の庭に植えます。最初に向かいのおばあさんが、やがて村の女性たちが加わり、ぼろ布でテントを縫って種を芽吹かせますが、男性たちは笑います。ワンガリはさらに製材所の主人と地元の役所の扉をたたきます。ひとにぎりの苗が村全体を変えられるでしょうか。巻末では、本物のワンガリ・マータイと、彼女が始めたグリーンベルト運動が紹介されます。

文：Ricardo Alcántara · 絵：Noemí Villamuza

話し合いの問い

ワンガリは「小さな行いこそが違いを生む」と言います。あなたも同じ考えですか？小さな行いだけでは足りないのはどんなときでしょう？

学習のねらい

- 互いにつながる3つ以上の原因を使って、貧困の連鎖が世代から世代へと受け継がれる仕組みを説明できる。
- 実際の2つの貧困対策（現金給付とマイクロクレジット）を、合意した基準に沿って評価できる。
- 地域の貧困を減らすための現実的な3項目の計画を提案し、だれが反対しそうかを指摘できる。

準備するもの

- 印刷した2種類の政策ファクトカード（ブラジルのボルサ・ファミリア、バングラデシュのグラミン銀行）
- 評価基準表（コスト、対象範囲、子どもへの効果、公平さ、リスク）
- 2色の付箋
- 黒板

キーワード

貧困の連鎖 — 貧困が問題を生み、その問題のせいで貧困から抜け出しにくくなること。世代を超えて続くことが多い
条件付き現金給付 — 子どもが学校に通うなどの条件を満たした家族に支給されるお金
マイクロクレジット — 普通の銀行からお金を借りられない人向けの、ごく少額の融資
政策 — 政府や組織による行動計画
エビデンス（根拠） — あることが本当か、うまくいくかを示す事実やデータ
トレードオフ — 何かを得るために、別の何かをあきらめること
社会保障 — 年金、児童手当、失業給付などの公的な支え

教科との関連

理科: 健康、栄養、子どもの発達；健康状態の悪さが学習にどう影響するか。

地理: 開発指標と世界の格差；ブラジルとバングラデシュの事例研究。

公民・シティズンシップ: 政府、慈善団体、市民の役割；政策の立案と評価。

算数・数学: 百分率と割合の読み取り；政策のコストと対象範囲の比較。

国語・言語: 説得力のあるスピーチと構造化された議論（主張・根拠・説明）。

ユネスコESDコンピテンシー: 戦略的コンピテンシー

授業の流れ

黒板の上の連鎖 · 10分

先生

- 黒板に「低所得」と書いて丸で囲み、「低所得は何につながるだろうか？」と問う。矢印で連鎖を作っていく：栄養不足 → 病気 → 学校を休む → 賃金の低い仕事 → 低所得。
- 紹介する：世界の子どもの約5人に1人が極度の貧困の中で暮らしている（UNICEFと世界銀行）。幼少期はその後の人生を左右するため、子どもがいちばん大きな影響を受ける。
- 問いかける：この連鎖のどこで断ち切ることができるだろうか？

児童・生徒

- 連鎖のつながりを提案しよう。
- 自分ならどこで連鎖を断ち切ろうとするか、付箋で印をつけよう。

政策評価チーム · 22分

先生

- 2枚のファクトカードを配る。ボルサ・ファミリア：ブラジルでは、子どもが学校に通い健康診断を受けることを条件に、低所得の家族に定期的に現金を給付している。数百万世帯が対象となっている。グラミン銀行：バングラデシュでムハマド・ユヌスが創設し、担保なしで少額のお金を、主に女性に貸している。ユヌスと同銀行は2006年のノーベル平和賞を共同受賞した。
- グループごとに評価基準表を使って各政策を1〜5で採点させ、それぞれの点数に根拠または疑問を必ず添えさせる。
- エビデンスが一致しないこともある（例：マイクロクレジットの金利をめぐる議論）こと、そしてそれは実際の政策では普通のことだと指摘する。
- 各グループに、どちらか1つの政策について最も強い賛成意見と反対意見を発表させる。

児童・生徒

- 両方のカードを読み、効果を示す事実に下線を引こう。
- 各基準を採点し、その理由を1行で書こう。
- どちらの政策が連鎖を最も多くの地点で断ち切れるか決め、その理由を考えよう。

ミッション:「🏛️ Mayor for a Day」（一日市長） · 18分

先生

- ミッションを紹介し、Do のステップの制限時間を12分とする：地域の貧困の原因を1つと、3項目の計画。
- 評価で出たアイデア（条件、対象の絞り込み、コスト）を使うこと、だれが反対しそうかを考えることを思い出させる。
- 2つのグループを選び、計画を60秒でプレゼンさせる。

児童・生徒

- Spark を読み、地域の原因を1つ選ぼう（例：住居費の高さ、仕事の不足、交通の便）。
- 3項目の計画を書こう。
- 「市長として」計画をプレゼンするか、聞き手として鋭い質問を1つしよう。

だれが反対する？それはなぜ？ · 10分

先生

- ミッションの Reflect の問いを読み上げる：この計画にだれが反対しそうか、それはなぜか？
- 振り返りカード（出口チケット）に取り組ませる。

児童・生徒

- 反対しそうなグループを1つと、その人たちを味方につける方法を1つ挙げよう。
- 振り返りカードに答えよう。

振り返りカード

貧困対策を1つ選び、長所と限界を1つずつ、理由とともに書こう。

解答例: ボルサ・ファミリア：長所は、通学と結びついた現金給付によって、所得と教育の問題に同時に取り組めること。限界は、近くに学校や診療所があることが前提なので、へき地では対象になる人が少なくなること。

おうちで

生徒は家で大人に、その人が子どもだったころにどんな支援があったか（給食、児童手当、医療など）、それが役に立ったかをたずね、次の授業で分かったことを1つ共有する。

個別対応 · 支援

- 一部を記入した連鎖の図と、書き出しの文を付けた評価基準表を用意する。
- プレゼンはペアで行い、1人が発表、もう1人がメモを持つようにする。

個別対応 · 発展

- 社会政策における「ターゲティング（対象の絞り込み）」の意味を調べ、全員を対象にした支援と対象を絞った支援のどちらが公平かを考えさせる。
- 世界銀行の国際貧困ラインと、自分の国独自の貧困の測り方を比較させる。

達成基準

- つながり合う原因を使って、貧困の連鎖を説明できる。
- 意見だけでなく、エビデンスに基づいて政策を評価できる。
- 現実的な計画を提案し、反対意見を予測できる。

取り扱いの注意

クラスには、今まさに経済的に苦しい生活をしている生徒がいるかもしれません。生徒に自分の家や収入、持ち物について話させることは絶対に避け、代わりに架空の登場人物を使ってください。貧困は不公平なチャンスの問題であり、人が怠けているとか能力が劣っているということではない、というメッセージを一貫して伝え、だれにも自分がどのグループに当てはまるかを言わせないようにしてください。

オンラインで無料、アカウント不要

- 目標1のミッション動画を見る: **eco-heroes.org/ja/sdg/1/**
- 目標1のゲームのチャプターを遊ぶ: **eco-heroes.org/game/?lang=ja**
- 目標1のクイズに挑戦する: **eco-heroes.org/ja/trivia/?sdg=1**
- 無料の読書ガイドを読む: **eco-heroes.org/ja/library/the-tree-woman/**
- 目標1 教師用パック: **eco-heroes.org/ja/teachers/goal-1-pack/**

出典

- UN — Goal 1: End poverty（英語） — https://www.un.org/sustainabledevelopment/poverty/
- UNICEF — Child poverty（英語） — https://www.unicef.org/social-policy/child-poverty
- World Bank — Poverty overview（英語） — https://www.worldbank.org/en/topic/poverty/overview

© 2026 Eco Heroes International SL · CC BY-NC-ND 4.0 · creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/